

令和8年8月から 佐倉市の休日部活動は変わります

－持続可能な休日クラブ活動するための“受益者負担”について－

今年7月に発行した 佐倉市部活動地域展開 News vol.1 では、令和8年8月から休日の部活動に代わる活動の場として『(仮称)休日地域クラブ SAKURA』を準備していることをお伝えしました。今号では、受益者負担の必要性を中心にお伝えします。

Contents

| | |
|--------------------------------------|----|
| 佐倉市における部活動地域展開の取組を紹介する動画を作成しました…………… | P1 |
| そもそも(仮称)休日地域クラブ SAKURA って?…………… | P2 |
| なぜ受益者負担が求められるの?…………… | P3 |
| 保護者の方々からいただいた質問への回答…………… | P4 |

佐倉市における部活動地域展開の取組を紹介する動画を作成しました

今年度、実証事業に参加している生徒の皆さんの練習風景やインタビューを15分ほどの動画で紹介しています。生徒や地域指導者の生の声に加え、圓城寺教育長、西田市長からのアツイメッセージをぜひご覧ください。

<https://youtu.be/kXjH84ZgUP8>

さくら動画配信(佐倉市公式チャンネル)に飛びます。



この取組に関するお問合せは佐倉市教育委員会指導課 shidou@city.sakura.lg.jp まで

そもそも(仮称)休日地域クラブ SAKURA って？

国により部活動改革が進められる中、休日の部活動に代わる新しい取組として、市が枠組みを構築し、運営はノウハウのある民間事業者等が行います。

主に佐倉市教育委員会がやること

全体の枠組み構築

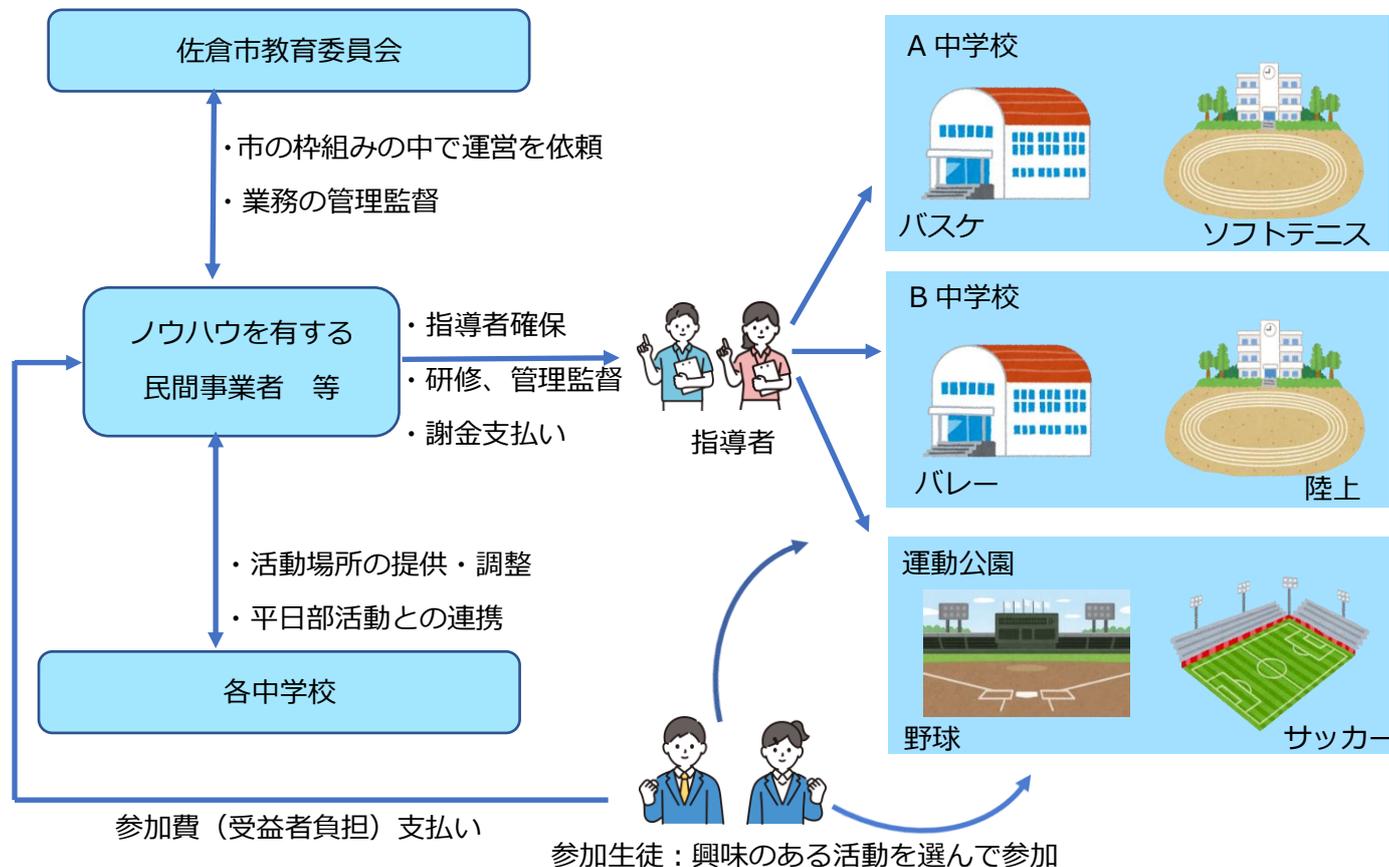
- みんなの“やりたい”活動を可能な限り用意すること
- 参加するための受益者負担を極力抑える工夫
- 安心して参加できるよう、生徒保護者への理解促進、相談対応
- 活動場所の提供
- 民間事業者の管理監督

主に民間事業者がやること

練習など活動全般の管理運営

- 熱意のある指導者の確保及び管理監督
- ハラスメントや事故防止など、指導に際して必要な研修実施
- 指導に関する生徒、保護者からの相談対応
- 受益者負担徴収
- 指導者への謝金支払い

イメージ図



なぜ受益者負担が求められるの？

これまでは教育活動の一環(学校業務の一部)として部活動が行われてきたため、活動に必要な人材、場所、物資にかかる費用のほとんどが公費で賄われてきました。

しかし、2ページ目でもお伝えした通り、(仮称)休日地域クラブ SAKURA は、民間事業者の力を借りながら運営していくことになります。

既存のクラブチームでも、指導者への報酬や練習場所の使用料、活動に必要な備品や消耗品を賄うために、年会費や月会費といった料金が設定されているように、今後は活動に必要な経費を参加者同士で負担していく必要があります。

(仮称)休日地域クラブ SAKURA では、運営に必要な経費について、公費と受益者負担で賄うことで、こども達が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保していく予定です。

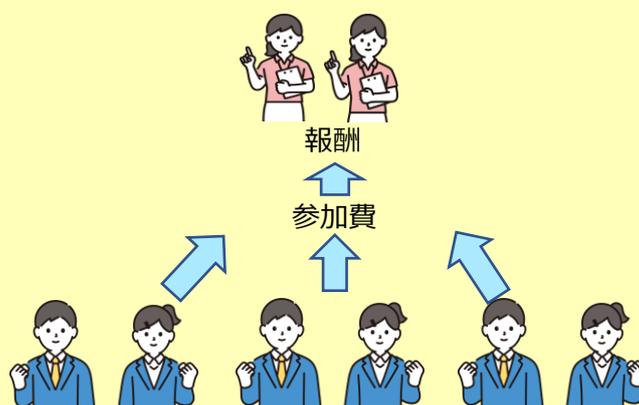
受益者負担は主に何に使われるの？

各クラブで指導にあたる、指導者報酬に充てる予定です。それ以外のクラブ運営に必要な経費についても、公費と受益者負担のバランスを考慮しながら、ご負担いただく金額を設定していきます。

こども達に活動の楽しさや、技術向上を体感してもらうこと、ハラスメントや事故防止といった、**こどもの安全性を確保するためにも、質の高い指導者を確保することが重要です。**そのためにも、指導者に一定程度の報酬が支払われる仕組みを構築する必要があります。

※ 受益者負担額は現在検討中

※ 就学援助世帯に対する公費負担も検討中



保護者の方々からいただいた質問への回答

7月に発行した「部活動地域展開 News vol1」をご覧いただいた保護者の方々からいただいたご質問にお答えします。

掲載内容はコチラからご覧いただけます



令和8年8月から、どの部活動も完全に地域移行するのでしょうか。

(仮称)休日地域クラブ SAKURA では、まずは土日の練習を地域移行することを目指しています。このため、令和8年8月からは、現在土日に練習している、運動部活動の地域移行を実施する予定です。吹奏楽部については、運動部に比べて活動に制約が多いため、準備が整い次第、地域に移行していきます。



こどもが所属している部活は人数が多いうえ、合併予定の中学校も同様に人数が多いと聞いています。このように人数の多い部活同士も、合併しなければならないのでしょうか。

土日の活動については、前回のお知らせで記載している通り、原則近隣の中学校と合同で練習をしていくこととなります。

佐倉市の生徒数は、今後10年で34%(1,335人)減少する見込みがあり、今は大丈夫でも数年で活動が成り立たなくなる種目が多数出てくる予測があるためです。

※約1,300人が減少するという事は、現在市内で最も多い生徒を抱える、志津中(675人)と井野中(538人)2校分の生徒が0人になるイメージです。



学校のユニフォームや、部活Tシャツを購入してしまいましたが、地域移行により合併すると、これらは使えなくなるのでしょうか。

平日の部活動は引き続き学校単位で行うことから、現在ご購入いただいているユニフォームやTシャツは、地域移行後も当面の間使用できると考えております。

ただし、大会出場にあたり休日地域クラブチームで出場する場合、大会規程によっては新たなご負担をいただく可能性もございます。そのような場合には、生徒の皆さんや保護者の方々には、事前にご説明をさせていただく予定です。

佐倉市教育委員会では、引き続き、部活動地域展開に関するご質問などを受け付けています。お問合せ、ご質問は、メールにて 教育委員会指導課までお寄せください。いただいた意見については、HP や地域展開 News などを通じて見解をお示ししていきます。

メールアドレスはこちら shidou@city.sakura.lg.jp